

2012年1月19日(木)

強みを生かす被災地支援

ソーケングループの仮設住宅支援

企業として何が出来るか？被災者の声を聞き今必要な善意を届ける。
あすと長町仮設住宅活動～石巻トゥモロータウン仮設住宅訪問



▲2011/11/4の支援活動で仮設住宅に提供した物置の定期検査。
破損無くちゃんと皆様に使って頂いておりました。

今回の支援活動のテーマ⇒【復興元年：変わらぬ支援の継続】

1 昨年提供した支援物資の「その後」を検査。そして見えてきた新たな課題点

ソーケングループが昨年、東洋紡フェアトーン(株)様と提供し大変喜んで頂いた支援物資のカーテン。こちらは通常に使って頂く以外にも、壁に貼って防寒対策として使われてました。エアーキャップ同様の防寒になると好評を頂きました。ただカーテンでカバーできない箇所には結露によるカビが生えており今後の課題も見えてきました。支援するだけではなく、新たに出てくる問題点を見逃さない事が大事だと有吉は語ります。



2 女性・高齢者・障害を持つ被災者の内職における収入UP支援【内職クラブ】

ソーケングループは間伐材で作られた商品の組立作業を仮設住宅の在住の方々へお仕事としてお願いしております。10月から始まった内職クラブ。毎日新聞に掲載された事により更に活動の話題性も高まり川原副に進んでおります。今回は間伐材のもう一つの商品、「つみき黒板」を新しく発注させて頂きました。また箱根のガラス屋さんから提供されたオリジナルグラスの製作も開始致しました。



3 収入源の中で支出を減らす継続支援

【ボランティア美容院・ネイルアート】

エスタシオ様全面協力の元、スタイリストによるボランティア美容院を今年も開設。
(交代で毎月無償開催)開始から終了まで常に列が絶えないほどの大盛況でした



4 映像と音楽のイベント

震災後、活躍の場が減った学生アーティストへ活動の場を提供しているNextStandard。次回三月公演に向けて専門学校デジタルアーツ仙台様と打合せを行ないました。



5 復興元年新プロジェクト始動！地元に住む住民と、仮設住宅に住む住民が

一緒に楽しめるコミュニケーション広場

石巻復興支援ネットワーク渡辺様と打合せ。そこで知った新たな問題。被災者の地元住民とのコミュニケーション不足。そして子供たちが球技ができる広場が無い事。運動不足と孤立により高齢者の心身が急速に衰える廃用症候群が広がっている事。



仮設住宅近隣で使われなくなっている公園を使用して新しいコミュニケーション広場を提供する計画が石巻復興支援ネットワーク様と着々と進んでおります。

復興元年と位置づけた今年。ソーケングループの新しい挑戦が始まります！

今回も数多くの企業様・ボランティア団体様からご賛同、御協力、頂きました。ありがとうございました！

有限会社エスタシオ様 株式会社「心」様 石巻復興支援ネットワーク様 東洋紡フェアトーン株式会社様 震災復興地域かわら版『みらいん』編集部様
専門学校デジタルアーツ仙台様 ソーケン災害防止協議会メンバー あすと長町仮設住宅在住の皆様